

広告

企画・制作／(株)宣通
TEL. (052) 979-1602

健康講座 ドクター

Q&A

Q 慢性腎臓病と診断されました。どのような治療方法がありますか？

A 慢性腎臓病の治療の目的は、「腎臓の働きが悪くなるスピードをできるだけ遅らせること」と「心臓や血管の病気などの合併症を防ぐこと」です。治療の基本は生活習慣の見直しです。特に食事療法が重要で、塩分を控えることが第一となります。

一般に1日6g未満を目標とし、病状に応じてたんぱく質やカリウム、リンの摂取量を調整します。あわせて、体重管理、禁煙、無理のない運動習慣も腎臓を守るうえで大切です。

次に薬による治療があります。血圧が高い状態が続くと腎臓に負担がかかるた

め、血圧を安定させる薬を用いて管理します。糖尿病が原因の場合は、血糖値を適切にコントロールすることが腎臓機能低下の予防につながります。近年では、血糖を下げる作用に加えて腎臓を守る効果が期待できる薬も使われています。さらに、腎臓病に伴う貧血、骨がもろくなる状態、むくみなどに対して、それぞれ必要な治療を行います。

慢性腎臓病は早期から治療を続けることで、透析や腎移植が必要になる時期を大きく遅らせることができます。定期的な検査と通院を続け、病状に応じた治療を根気よく行うことが何より重要です。

1994年福島県立医科大学卒業。
1998年東北大学大学院泌尿器科学専攻卒業。
八戸市立市民病院、東北労災病院、白河厚生総合病院、東北大学病院、気仙沼市立病院勤務。
2022年4月より仙台腎泌尿器科。



院長 折笠 一彦
(仙台腎泌尿器科)